



MARIANNEBOLLE
Beat Synchronizer

ときめきみちびき書

Tokimeki

ときめきみちびき書

ときめき響奏という理念には、ホロン(WHOLONE)の持つ全体(WHOLOS)と部分(ONE)の調和という意味が含まれています。ときめきとは、個人の感性が知覚するものです。響奏は多くの人々と共有し、共感するものです。ときめきは、「部分・ONE・一人」。響奏は、「全体・WHOLOS(ギリシャ語で全体)・多勢」に当たります。ホロスとワンが結びついてホロンという言葉が生まれました。1967年にA・ケストラーは、彼の著書の中で「ホロン」という言葉を初めて使いました。ホロンは、この科学者が創作した造語なのです。現在、あらゆる分野で定着した形で使われています。ときめき響奏、Beat Synchronizerという言葉も、これからホロンと同じく人々の日常の中に定着していくことでしょう。私達の理念である「ときめき響奏」という言葉を、人々の生活の中に、商品や暮らし方というレベルに於いて、具体化していくことが私達の使命です。その為には、まず、私達のあるべき姿、理想の形が明確でなければなりません。この、ときめきみちびき書には、これから私達がどう歩んでいけば、理念を理想の事業のシステムとしていけるのかが解説されています。スタート時に、いくつかの到達点の中の最初のゴールのイメージを明確にすることこそ、大切な成功への鍵なのです。この中には、私達の理想への想いがたくさんこめられています。しかし、決して、不可能な絵空事ではありません。これを読み、意識をつくり、磨き、更に多くの人々と意識を響奏させていくプロセスが整えば、必ず実現することばかりです。あなた自身が、人々のときめきをいざない、みちびく為に、又、ときめき響奏という互惠運動のダイナミズムのリーダーになっていただく為に、この「ときめきみちびき書」は存在するのです。

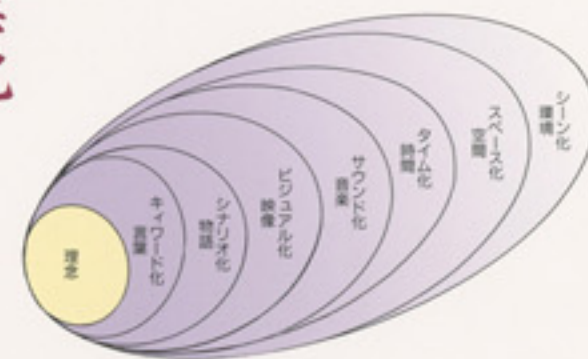


Guidance Book



理念の事業化

形にならない理念は単なる言葉です。理念そのものが明確なイメージを持っているべきです。その為には、理念の啓蒙者達は、人々にはまだ見えない近未来の社会が真に求めている生き方のイメージを見抜いていなければなりません。理念を生きがいパターン、生活パターン、モノパターンに置き換えていくプロセスこそ事業なのです。私達は、ときめき響奏という理念を、その言葉通り、まさに多くの人々に、ときめきを与え、響奏までいくにふさわしいオンリーワンのノウハウに恵まれました。それは、ある日、私達の足元へ一筋の宇宙からの光のようにやってきました。理念を言葉にし、物語にし、映像にし、音にし、時間にし、空間にし、環境にしていける、というプロセスの中から理念は事業へと進化していくのです。このときめきみちびき書には、ドラマチックな理念の事業化への物語がしたためられています。





ときめき響奏企業にとって

ときめき響奏企業にとって、ここていう5つのテーマはどれも分かち難く結びついています。化粧品・ソサエティ・チーム・目的・ページェントひとつずつの物語が右回りの円環状の読み物になっていますが、5つの輪が又ひとつの輪の部分として曼陀羅のようにひとつの円を描いていくのです。ひとつずつを読みながら全体の接点とマクロな想いを感じとってください。

ときめき響奏企業にとっての「化粧品」とは

化粧品とは、

ときめき響奏社会を育む為の大切なツール(道具)なのです。



ときめき響奏企業にとっての「ソサエティ」とは

ときめきソサエティとは、
ときめき響奏心を磨く出逢いの時空間です。



ときめき響奏企業にとっての「チーム」とは

チームとは、
社会に輝きをもたらすときめき響奏合唱団です。



ときめき響奏企業にとっての「目的」とは

私達の目的とは、
互恵愛に満ちたときめき響奏社会づくりです。

人の心にときめきをおこす為に、
こんなHOWを日常の中で、
たくさん、いっぱい考えて
自分の中でまとめてみる事です。
どんな生き方、
どんな時間の使い方、
どんな物の買い方、
どんな友達の作り方、
どんな自分のイメージの作り方、
どんな化粧の仕方、
どんな着装の在り方、
どんな仕事の仕方、
どんな意識の作り方、
自分の周りにいる
ときめいている人々の生き方を
一人でも多くの人に
メッセージしていく事です。

今日一日何人にときめきを感じさせ、
更にそのときめきの輪を
いかに高めていくか、
それが本来の目的なのです。

目的とは、まず人のいい面を好きになり、
思いやり、恵みを与える心に徹すれば、
自然に達成できるものなのです。

こんな風にして世間の役に立っていかう。
その為には、何人の人に出逢い、
いくつのときめきを感じさせればいいのか、
そこから数字が生まれてくるのです。

PURPOSE

まず、チームの目的を個人が
思わずときめきを感じるような素晴らしい
響奏内容にすることが大切です。

目的づくりとは、日々出逢う人々に
ときめきを与えていける自分を、
徐々に育てていくことから始まります。

ときめき響奏企業にとっての「ページェント(祝祭)」とは

ページェントとは、
ときめき響奏人として
超能力を発揮する素晴らしい機会です。

ページェントとは、
年2回心を浄化させ、過去の自分に
天から超能力を授かるセレモニーです。

ページェントとは、
日常の中に刺激としてのときめきを
蓄かせる行動です。

ページェントとは、
自分の能力を超えてしまう冒険の
旅の軌跡を味わえる機会です。

ページェントとは、
日常の自分とは一味違うもう一人の
自分を見つけ、その自分に想像を
超えた期待をかけ、精一杯応答する機会です。

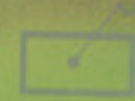
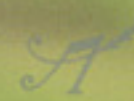
ページェントとは、
自分の中に今まで考えてもみなかった
すごいエネルギーと、
幸運の星があることを信じられる機会の事です。

ページェントとは、
新しい自分が新しい出逢いの
場面に、出逢う為のドラマづくりです。

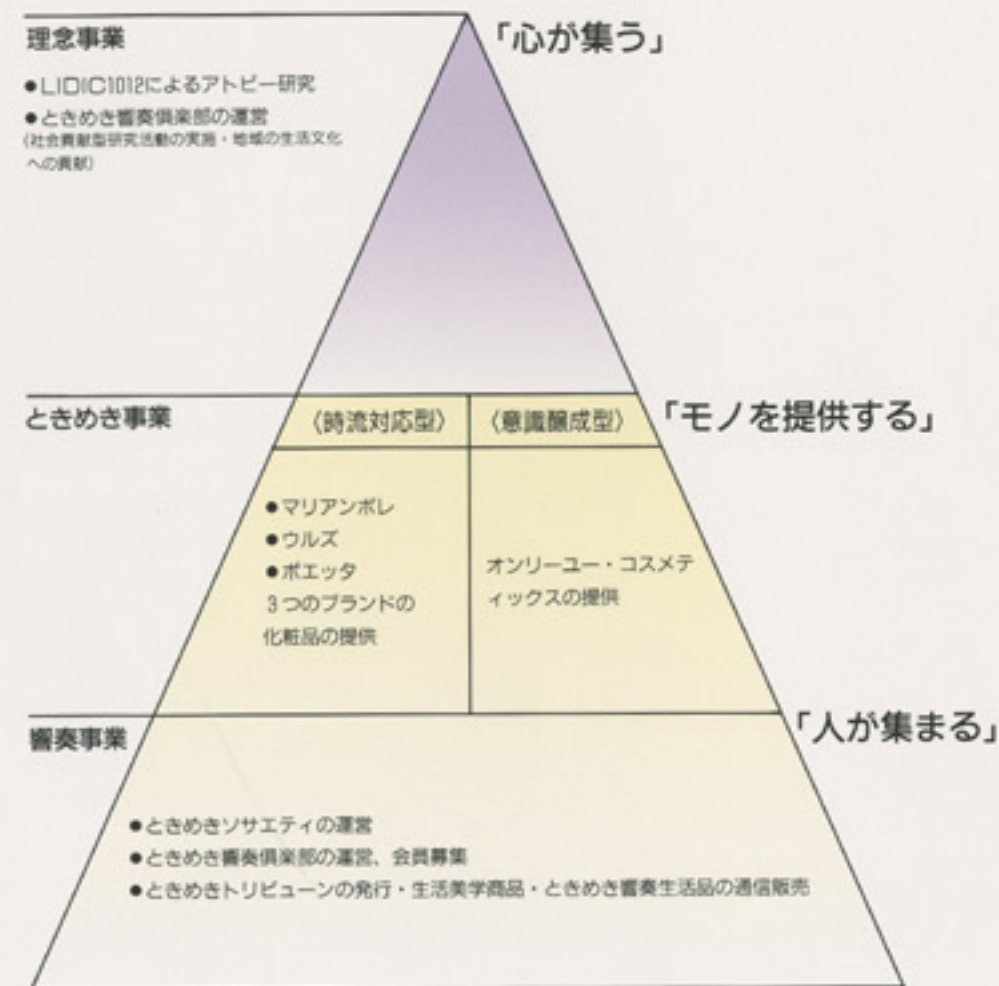
ページェントとは、
新しい自分に出逢う為の祝祭です。

ページェントとは、
自分の人生の素晴らしい舞台づくりです。

page



1995年 のあるべき姿



理念を意識に刷りこむと 理想が形になるのです。

すべての未来のビジョンは、理念から生まれまは、ビジョンをつくりシステムを構築すること時点で10年先はほぼ見えてしまうのです。理念意識に刷りこまれた互恵の心から自然に生まれこんでいくと理念が理想のプランになりやがて

す。理念を生むプロセスを大切にしてきた企業が非常にスムーズに運びます。理念が生まれたを頭で考えだそうとしてはいけません。理念は、てくるのです。更に生まれた理念を意識に刷り現実に形になっていくのです。

情報化社会

1995年

意識の社会

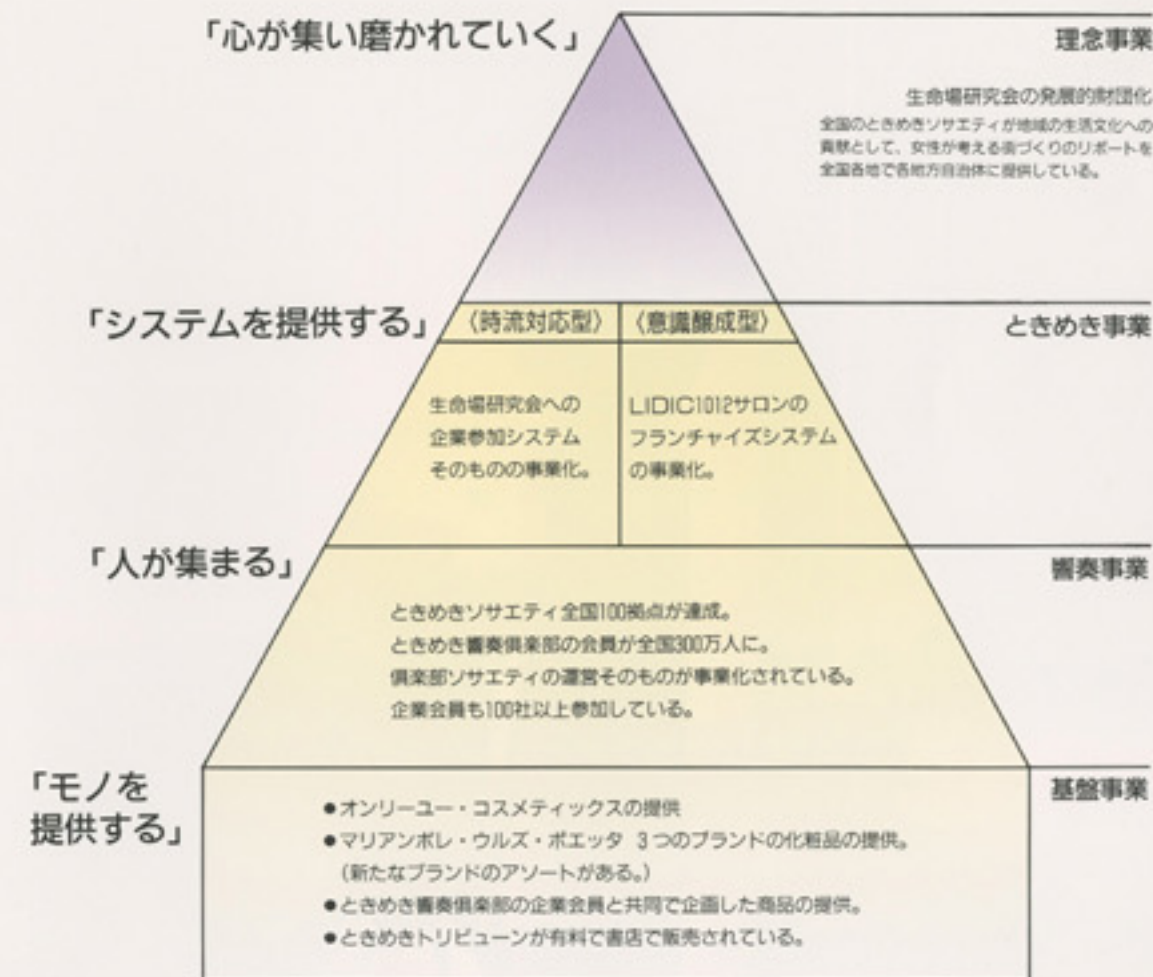
1997年

(神経交流社会)

(細胞交信社会)

2000年

2001年 のあるべき姿



意識の集い

ときめき響奏倶楽部
TOKIMEKI KYOSO CLUB

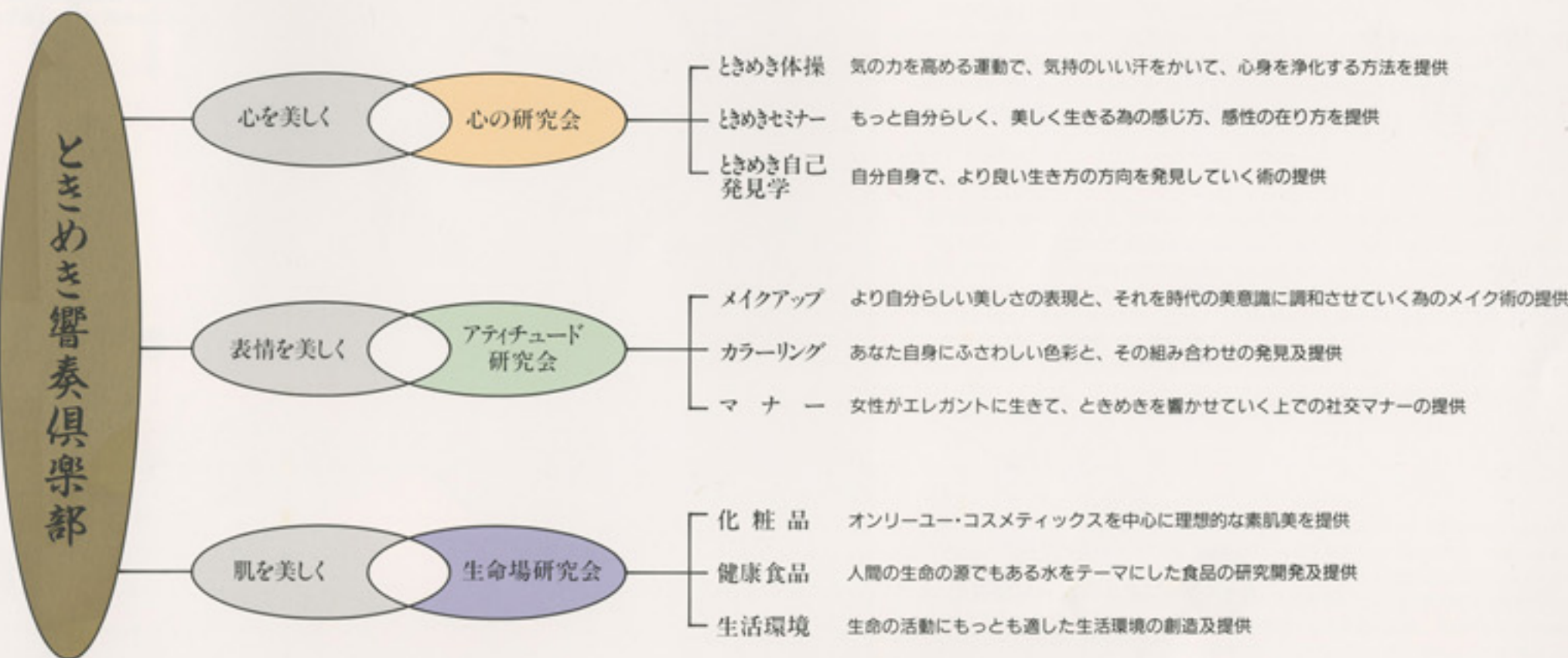


意気高く、生き活きとした粋な美しい顔で、息永く、生きがいを持って暮らしましょう。

ときめき響奏倶楽部は、ときめき響奏という理念を美容における精神面、肉体的内面、肉体的外面という3つの立場から研究することを目的とします。ここで研究された成果は、人々の日常生活の中にときめきを呼びおこし、より多くの人々と響き奏であう為の知恵や作法として具現化されていくのです。各界の専門家の方々と軸とし互恵の心を共有する国際的な倶楽部です。又、この倶楽部は、この3つの分野の枠を超えた融合的研究も同時に行いながら部分の美容から本来の総合美容の研究と開発を国際的に実施していく機能を持っています。

ときめき響奏倶楽部のあるべき姿と内容。

ときめき響奏倶楽部は、女性が粋に生きる為のトータルな在り方を、まさしく全体的に提供することのできるトップクラスのシステムとノウハウを持つ倶楽部です。3つの研究会の中に各々3つのカテゴリーがありますが、どれも極めて高密度の深い内容を持っています。ただ、見栄を満足させる為だけの見かけのみの高尚さは一切ありません。あくまでもあるがままの自分をさりげなく絶妙のバランスで表現することを目指した内容が揃っています。日常的で身近で分かり易く続け易いものばかりです。だからこそ内容に深さが要るのです。私達は、女性が安心して粋な人生を息永く過ごしていく為に最低限必要な「モノ」と「コト」を心をこめてご提供したいのです。ときめき響奏倶楽部を部分的にとり入れる人々にとっては、何の影響も及ぼさないでしょう。私達ときめき響奏倶楽部は、あなたにとってより大切なテーマは何かを「耕し」というプロセスで示し、ゆとりのある自分をつくる為の「結び」の作法を発見し、自分に欠けている点を適切に補う循環としての「浄め」の術をお教えます。更に最終目標である、絶妙の心の調和美を現わす「粋」という領域に達するまでの道のりのお手伝いをするガイド役も努めさせていただきます。倶楽部に参加しその状況に素直に触れ、感じとることによって知らず知らずのうちにあなたの意識に自然に刷りこまれていく素敵な生き方の術は、あなたの人生の素晴らしい資産のひとつになっていくのです。それは、倶楽部に参加されるメンバーの方々と意識の交流によって日々高まっていくことでしょう。





耕・結・浄・粋のプロセスから生まれる「粋」の在り方を形にする為に必要な「モノ」と「コト」を惜しみなく提供しつづける、それがときめき響奏倶楽部の使命です。

ときめき響奏倶楽部は「女性が粋に生きる」為のあらゆる応援に心を尽くします。1人1人の「粋に生きたい」という想いが集い各々の「耕」「結」「浄」の在り方を意識の眼で見つめ、自分を客観視しながら「粋」という領域への旅を楽しみ続けていただく為に大きく3つのプログラムが用意されています。それが心の研究会、アティチュード研究会、生命場研究会の3つなのです。



表情を美しく

こうすればもっと表情が美しくなり、存在が輝いていきますよ。

結 アティチュード研究会

自分の特徴を生かして誰にもない自分だけのスタイルをつくりましょう。
自分のスタイルと同じコンセプトを持つ商品や道具と自分を結びましょう。
自分とよく似た感性の人々と心を結びましょう。

耕

心の研究会

自分の資産を耕しましょう。
自分の持ちものを整理しましょう。
自分の能力や特徴をまとめましょう。
自分のしてみたい生活のパターンを書いてみましょう。

心を美しく

こうすればあなたのすべての魅力を耕し確認することができますよ。



精神面

外面

内面

粋

肌を美しく

こうすれば誰にもないあなただけの美しさを育てることができますよ。



生命場研究会

自分の資産が見え同質の人々と商品と結ばれていくと、
心身はやすらぎ浄化していきます。
次に自分の身体を浄化する3.5次元の商品を生活の中に取り入れていきましょう。

精結浄のプロセスの次に粋にたどりつきます。
あなたは、意気高く生き活きた粋な美しい顔で
息長く生きがいを持って暮らす自分に出逢えるのです。

● 私達は、女性が「より美しく生き活きた粋に意気高く息長く生きるコト・モノ」のすべてをお届けしていきたいと考えています。



心の研究会



その人がいるだけでその場が明るくなる、そんな人が世の中には居ます。光を放つように周りを明るくしてしまう人です。化粧をする行為以前に心を開き、心を整え、心を耕すという方法を知ることから明るさという、美しさへの道のりはスタートします。周りを明るくしようという心が自分をどんどん美しくしていくのです。「粋に生きる」その在り方を少しずつ知ることによって、心が徐々にときめきとは何かを感じるようになるのです。ときめきが生まれ育まれていくプロセスで肌は艶やかに変化していきます。心の研究会で実施するプログラムを通じてあなたの心にゆらぎをおこしみずみずしい自然のエネルギーを注ぎこみながら自分の本質を耕し、自分の素晴らしい点を見つけていく方法をお教えしていきます。心の研究会の目的は、まず“心を美しく”です。

ときめき体操

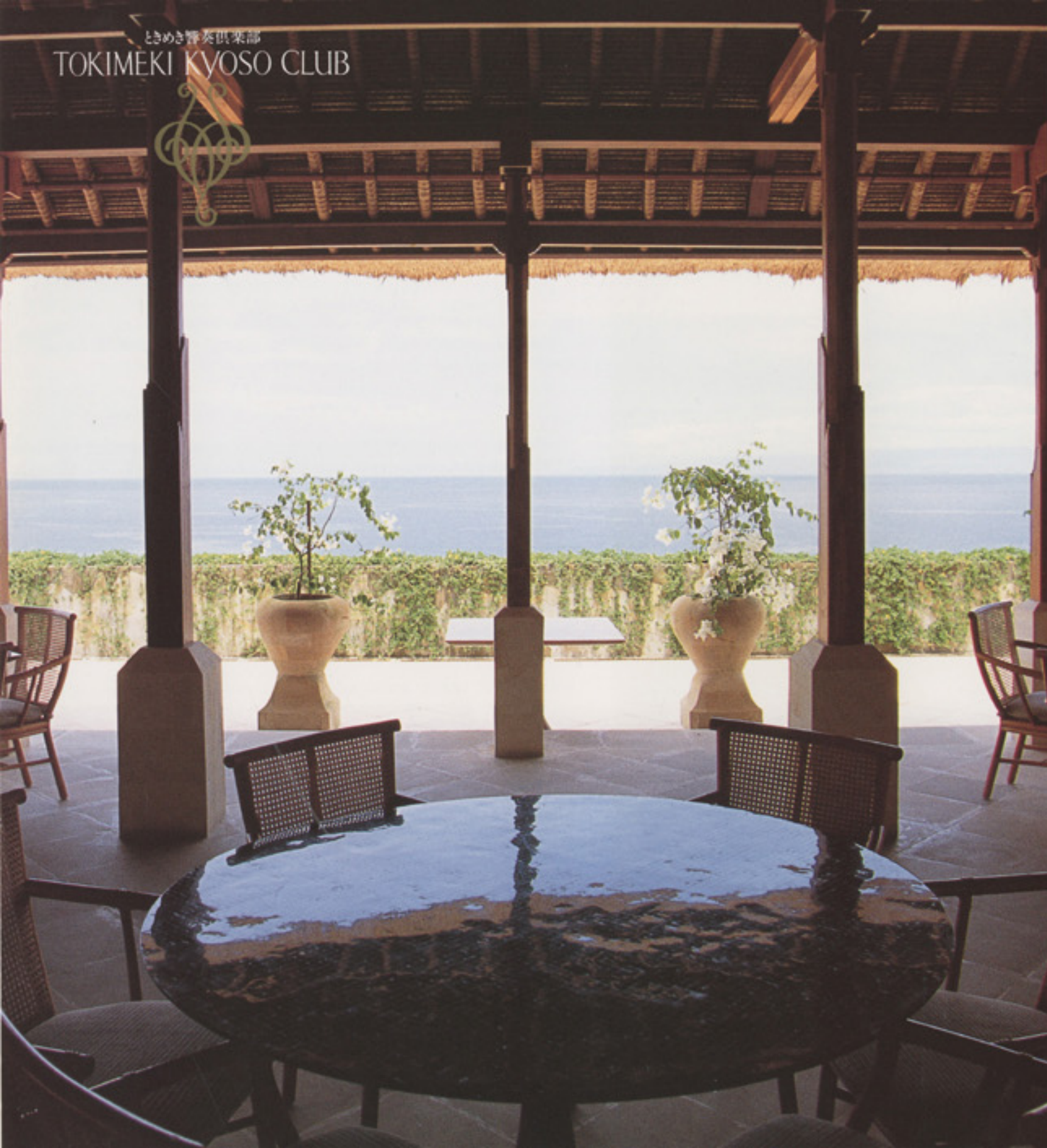
ときめき体操は、そのものが宇宙の摂理にかなったものです。基本的には中国の伝統から生まれた気功術や太極拳をより身近で手軽にできる作法としてまとめあげたものです。アクティブなスポーツは年齢や体力に制限があります。又、施設の確保や費用もかかー一人では仲々行きにくいものです。しかし、人間は元来自然の気の流れに添って身体を動かし、足腰を使うという行為そのもので心を調和させていく術を誰もが内在しています。体液をゆらがせ生命情報としての汗を出し、代謝をよくなり、体内に酸素を適切に取り入れることそのものが精神のコントロールには最良のバックアップになるのです。ときめき体操は、主婦でも子供でも老人でも容易にできます。ときめき響奏倶楽部でときめき体操を覚えた女性の方々は、家族全員にこのときめき体操をコーチしてあげてください。

ときめきセミナー

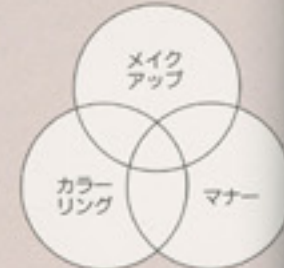
精結浄粋を実践する為には、まず粋に生きるというイメージを描くことから始めることです。“こんな生き方ができれば「粋」な女性になれるのかなあ”そんなおぼろげなイメージを大胆に描くのです。イメージを描ければ「耕」はぐっと身近なものになっていきます。「結」は自分の中に眠っている宝物を発掘することなのです。人生は物の見方、感じ方ひとつでガラリと変わってしまいます。グラス半分の瓶上のワインも「まだ半分もある」「もう半分しかない」これだけ物の見方には差があります。マイナスをプラスに変化させてしまう物の見方、感じ方にこそ知恵の恵みが在るのです。考える知識から感じる知恵を大切にしてください。素晴らしい感性そのものが人々に人生の教訓のヒントを恵んでくれるのです。自分自身の感性の泉を耕し、みずみずしい豊かな互恵感性という「水分」で多くの人々を潤してあげてください。

ときめき自己発見学

自然界の中で人間は基本的に弱い存在です。ただ人間の生命力の中で素晴らしいもののひとつとして恒常性という力があります。極寒の中で体温を保つ力や時間を感知できる力です。これが弱くなり欠けていくと自律神経が麻痺してしまいます。対人関係にも問題がおこります。自分の中の自浄作用、自己組織作用、自然治癒力を高め磨くことは、すべてこの恒常性の強化を意味しているのです。他のせいにせず自分の問題として考えてみる、これがときめき響奏人になるコツなのです。自分を信じられる自分をつくるためには、まず自分とは何かを正しく知ることから始まります。自分らしさを知る、比較論を止めて自分らしさを深める、そして何よりも自分がしっかりし、いい影響を周囲に与えていけばすべてがよい循環をする、そう信じられる自分を育てあげることです。ときめき自己発見学は自分の応援団を自分の中につくる方法をお教えすることです。



アティチュード 研究会



自分の外面を含む姿勢や生き方の表現すべてを英語ではATTITUDEといいます。化粧品はATTITUDEを磨く重要な「モノ」です。ただ素敵なATTITUDEは心の問題の解決を前提とします。物の見方、心の持ち方を整えることも素敵なATTITUDEそのものです。ATTITUDEとは、又自分らしさを社会の中で鮮やかに形として表現していく行為でもあります。自分らしさの表現にこそマナーが不可欠なのです。自分の表現と社会との調和、それをマイナス発想ではなくプラス発想で具体化していくこと、それがマナーです。自分らしさの発見の冒険、それは多様な自分の美への挑戦です。種な和装の自分、フォーマルドレスの自分、スポーティーな自分、優しい女としての自分、可愛い女としての自分、女性は自分推しの旅をATTITUDEとして日常的に体験する喜びを通して磨かれていきます。自分を磨き、自分の素晴らしい面を客観視する事からATTITUDEは生まれます。メイクひとつで自分が大きく変貌してしまう。ただメイクひとつにも自分のスタイルのバリエーションの延長線に位置付けるセンスが必要です。自分らしさの奥にある自分のスタイル、更にその拡がり、それをメイクや着装のカラーコーディネートで的確に表現する術こそ粋につながるのです。

メイクアップ

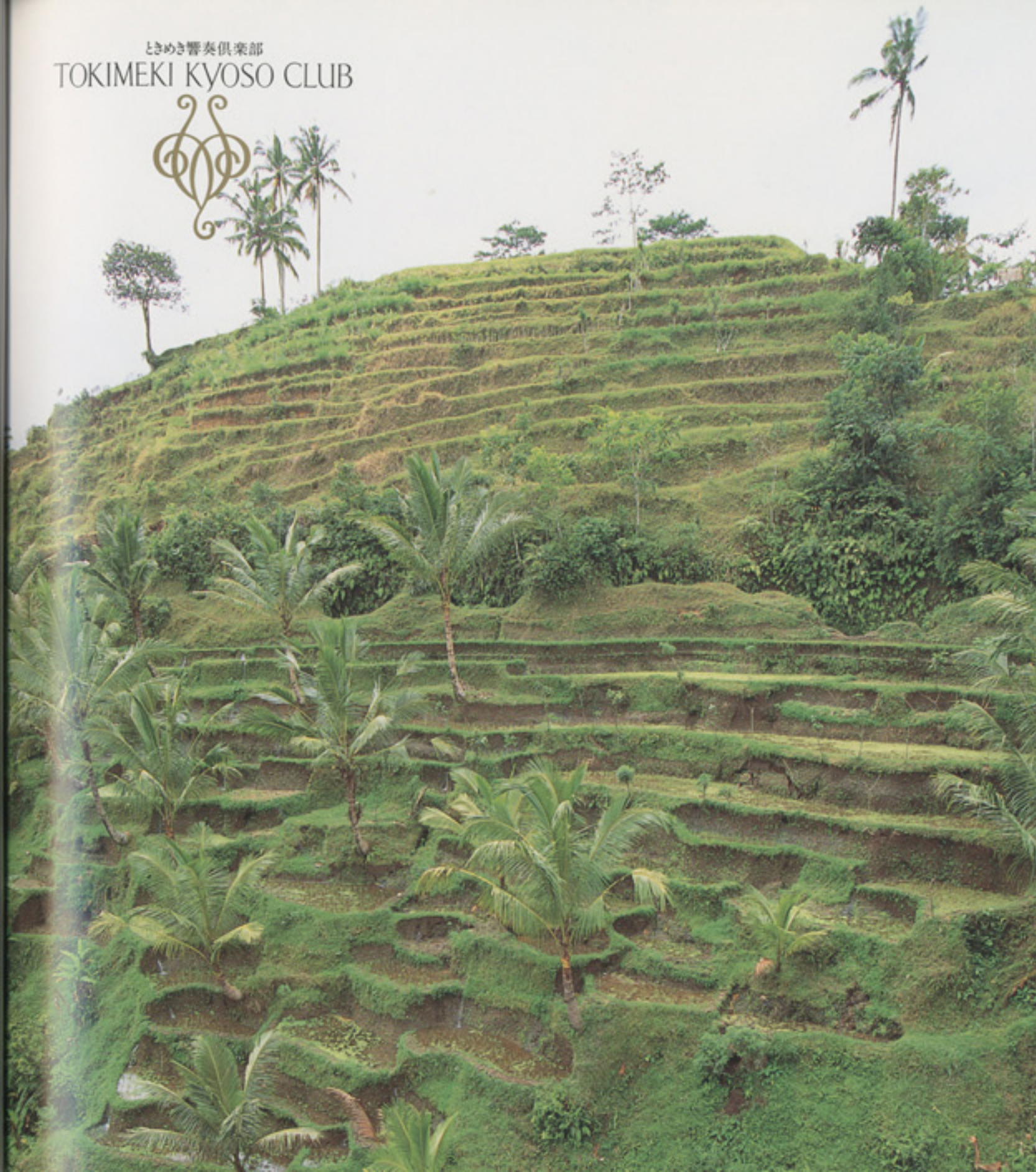
人は各々に表情の美しさがあります。又、人の美しさには時代の持つ流行との調和があります。人には各々に顔の形や眼や鼻や唇の形があります。メイクアップには大きく2つの方法と目的があります。まず、その人の顔形の個性を最大限に強調し、全体をその個性で包んでしまう方法です。個性を固有の美の価値へと深化させてしまうのです。もうひとつは、時代の美意識を取り入れる方法です。女性の美は時代の鏡であり、社会の気分を準的に表現する手法です。時代がエコロジーを求めてよりナチュラルに進んでいる時のメイクと、時代が優美なエレガンスを求めて集うメイクとはかなり差があります。更に細かくはFOP（フォーマル、オフィシャル、プライベート）の3つの状況でその手法と目的は微妙に変わっていきます。メイクはその人自身を情報に変え、時代のメディアに変えてしまいます。メイクは感性であり、知性の表現です。メイクの上達は生き方の上達につながります。メイクに自分なりの軸心を持たせた時、その女性は種の領域へ近づいているのです。

カラーリング

自然の中で共棲している多くの動植物は見事な迄の色彩の調和美を各々の皮膚の色に表現しています。人間も社会の中での色彩による自己表現と全体的調和という課題は益々大切になってきました。美意識は文化です。特に色彩という単純で判り易い美の表現は、人間の第一印象を大きく左右します。同じ赤でもその人らしい赤が選ばれた時、派手な赤ではなく落ち着いた赤に感じるのです。人間の個性と色彩の調和が自分や自分を社会の中にすんなりと溶けこませながら自立させるのです。さりげなく鮮やかに居られると心は落ち着き、行動にも自信が持てます。色彩の選択と組合せの上達は、生き方をイメージする力の向上につながります。カラーコーディネートが自分の中の「気」の力を引き出す位のパワーを持っていることをまず、素直に理解することです。

マナー

マナーそのものが文化です。マナーは各々の民族の歴史の証です。茶道のマナーや西洋式食卓のマナーは各々永い民族の生活の歴史の中から生まれました。立居振舞が自然の気の流れに添ってリズムカルでスムーズな様は、それ自体で一種の格を感じさせます。これには国境はありません。マナーとは自然の摂理に添うことなのです。民族の固有のマナーをまず知る。その次にそれを世界中で通用する自分の固有のマナーに進化させていく気概を持つことです。マナーを知ることで女性の格は変わります。特に国際化社会の中でのマナーは、メイクやカラーリング以上のパワーを持っています。決して差別意識でマナーを勉強してはいけません。自然界の循環に添って地球に優しく、人に優しく生きること、そのものがマナーなのです。



生命場研究会



生きるというのは極めてトータルなことです。皮膚の艶や色でその人の内臓の状態が読みとれるように、一見複雑そうな人間の身体も東洋の感性に照らしてみると、実にトータルでしかも明快に判断できます。健康というのはその人の心身の状態を現わす言葉です。健康とはすこやかで、やすらかに居られる状態のことです。生命場研究会の目的は本来の肌の美しさの実現です。内面としての肉体そのものに浄化作用(健康食品)とエネルギー(生活環境)を与え、更に日々新鮮に生まれ変わらせていく方法(化粧品)を通して肌の美しさを導いていきます。日本古来の神の交信具としての三種の神器も、人間が生き活きと生きる幸せの表現の為に存在したのです。剣、鏡、玉この3つは浄化、エネルギー、誕生と活性を現しているのです。心を美しく、表情を美しく、肌を美しく、どれもひとつずつ分断することはできません。人が生き活きと粋に生きる、その達成の為には、どれも分けることはできないのです。よりトータルな包みこみの発想が健康な生命力のある発想そのもののなのです。粋に入れるのではなく、すべてをゆるやかに包みこむのです。すべての器に添い、しなやかに水蒸気となって天空を舞う、生命の源としての水のような存在を求めることがこの研究会の究極の目標なのです。

化粧品

水がすべてを導いていくという哲学的な科学性からその人自身の化粧品、オンリーユー・コスメティックスが生まれました。LIDIC1012は生命情報の転写技術による個人の生命情報が刷りこまれた水の入った化粧品です。化粧品はいかに成分が良くても異物です。このオンリーユー・コスメティックスはその人の生命情報と同質の結晶をさせる化粧品です。その延長線上にアトビーの研究という互恵のノウハウも含まれています。

健康食品

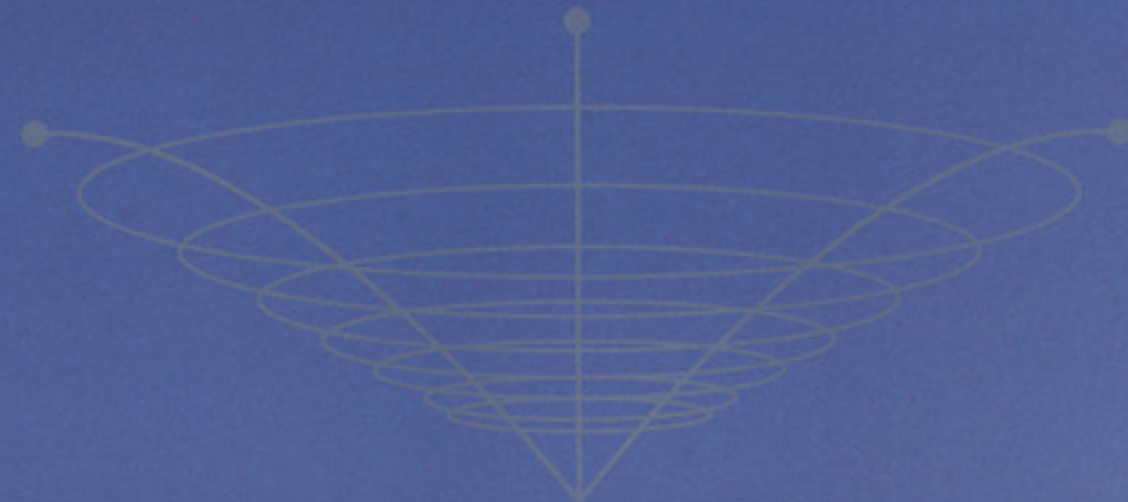
ここていう健康食品とは、女性特有の健康の好不調の波をおだやかにする自然の循環治癒力を高める為のものです。低血圧、貧血、血が薄い、肌が弱くなる、ブツブツがでる、肩がこる、便秘をする、生理痛、偏頭痛に悩むというのはひとつの連鎖をおこします。これらはすべて顔に肌に現れるのです。体内の60%以上は水分です。この水の質と成分、更に機能を高めることによってこれらの悩みが連続的に解決することは事実存在するのです。ここで生命情報水という新次元を開く水の開発が大きな力を発揮します。薬で治すのではなく、あくまでも自然の治癒力を高めることによる浄化作用が身体に健康なゆらぎをもたらしていくのです。いい体調はいい表情と美しい肌をつくり、粋な生活のイメージを拡げていくのです。

生活環境

健康に美しく生きる為の生活環境の在り方の基本には、日本の伝統的生活の時空間の再生にすべてがあります。畳や襖や障子には太陽の遠赤外線を吸収し、発散し、寒暖にしなやかに添う自然の恒常性の機能が見事に納められています。北枕の寝室で冷え症が治るという事実にも日本人は誤解をしています。北から流れる磁力によって死人が再生するという自然の摂理を勘違いし、北枕は不吉だと考えてしまったのです。いい気の流れを家の中に取り入れる場の位置付けやデザインにも自然の摂理をいかに取り入れるかが何よりも重要になってきます。肌に直接触れる衣類の風合いや寝具は、細胞や神経を護る上で微妙な作用を及ぼします。



生命は右回りの螺旋を描きながら、常にゆらぎを奏でている。



YURAGI
YURAGI

ゆらぎ

水がすべてを導いていく。

私達の生きる世界は水の世界と言っても不思議ではありません。

人間の体の60%以上が植物に至っては90%以上が水でできています。

地球の生態系は水によってつながり、水がこの世界の生命の鎖を作っていると言えるでしょう。

地球は水の惑星です。水こそ地球の生命情報の源なのです。

サケ 鮭の不思議

水の生命情報の話をしましょう。毎年、北海道のサケの稚魚はかなりの量、中国に輸出されています。その稚魚が成長し、大きく育っていくと、生まれた北海道の川に戻ってきてしまうのです。北海道の川に流れる水の情報を感じていて、川を下り、海を越えて帰ってきてしまうのです。いくら元の中国の川へ戻しても帰ってきてしまうサケに困りはた関係者はある解決策を発見しました。その北海道の川の水をコップ1杯だけ中国のサケのいる川に流してみたのです。そうするとサケは帰らなくなりました。この事実が水の持つ生命情報の凄さのひとコマを知ることができます。

夢の實現

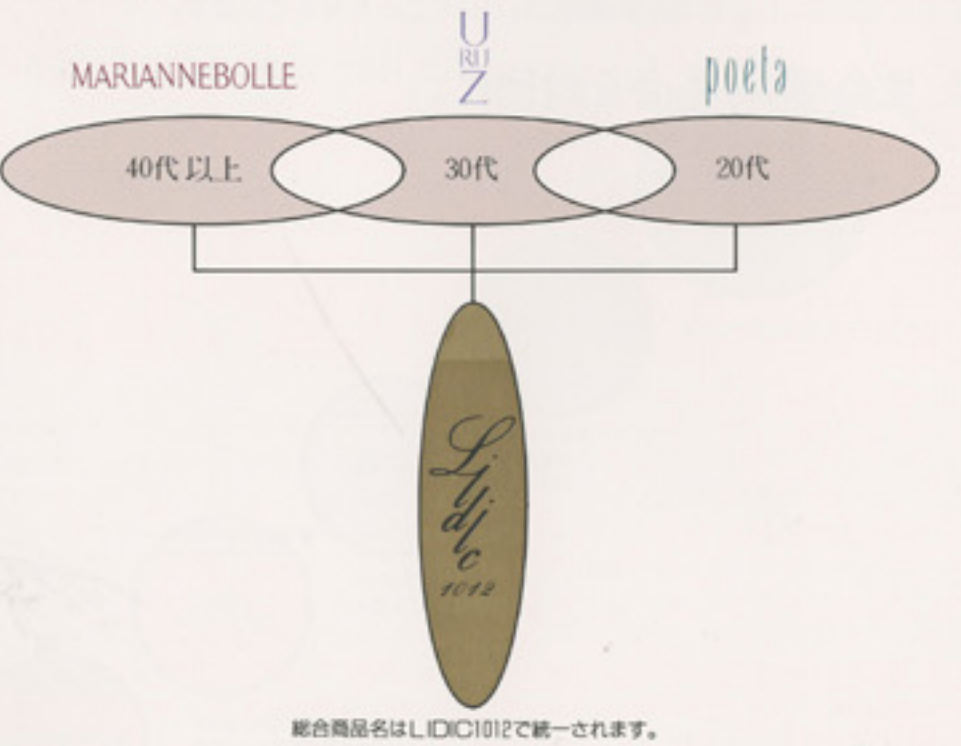
「将来は、生命場研究会を財団に。」

理念から生まれた3つのドラマ(物語)

ブランドの背景

理念から3つのドラマが生まれました。なぜこの3つなのか。それは、これから10年間地球人が求める生き方の指針の軸がこの3つにほぼ集約されるからです。フランス人の知恵としての粋、ネガティブな民の宇宙的生命力の中の粋、更に文化の源のひとつとしてのギリシヤ・ローマの延長線上でのイタリアの粋。この3つを源とする文化の回廊を線で結んでいくことによって壮大な物語を息永く、展開できるのです。これらすべての商品の総称は、LIDIC1012となり、サブテーマとしてのブランドがこの3つになるのです。

世代対応



総合商品名はLIDIC1012で統一されます。

MARIANNEBOLLE



マリアンボレ・ときめきびと (さりげない貴婦人)
18世紀、急速な天候の回復によってヨーロッパ全土が豊作を記録した。森から大量の樹が切られ、次々と優美な建築美に姿を変えていった。すでにアメリカが独立の前後であり、ヨーロッパはその文化の成熟期を迎えていた。パリはその頃ヨーロッパ文化を結晶させる都市となった。日夜サロンでは宴が開かれ、モーツァルトが夜想曲をつくり、オペラというエンターテインメントも登場した。グルメはブームとなり、フランス料理はその頂点を極めていく。今日のフランス文化の基礎がほぼ整った18世紀のパリのサロンには、多くの貴婦人達が日夜その艶姿を競ったのである。1789年、18世紀の後半フランス革命がおこり貴族達は階級を失った。ブルボン王朝はスペインへ逃げた。パリには大衆文化が花開く。貴族達は、その優美さを競うのではなくさりげなさ、自然さの中に貴族の誇りを包みこんで生きたのである。マリアンボレは、さりげない貴婦人という意味を持つ。ただの一度も海外からの侵略を受けたことのない日本女性達は、他の国には無い独特の優美な心と、自分を律する誇りを文化として持ち続けてきた。その伝統を日本人の美肌づくりを通して、未来に伝えることをテーマにつくられたブランドそれが、さりげない貴婦人マリアンボレである。

URUZ



ルーンにういて
ルーン文字は古代のアルファベット文字として使われていた。そのひびひびとした音が意味深い名前と独特の音を持ち、詩に使われたり、碑文や占いに使われていた。それをもとにして話に音楽性として発達するものにはなかった。ルーンを使う知恵は、ヴァイキングと共に死に勝ったルーン文字が西欧でいつか登場したかについては學者たちの間では意見が定まっていないう。ケルマン民族は、文字と呼べるものを持つまで岩の表面に彫ったルーン文字を使っていた。特にスウェーデンに多く見られるこのような有知念の岩に彫刻されたルーン文字は、第二次青銅器時代(紀元前1300年頃)にさかのぼり、おかしなペンダ、ヨーロッパ諸島の豊饒や太陽信仰と結びついていたと思われる。

poeta



ポエッタ・ときめきの息吹 (人生の詩人)
フランスにとって「ルネッサンス」とは、1494年シャルル8世がイタリアのナポリ王位を要求してはじまり、1559年に終わった「イタリア戦役」の結果もたらされた「イタリアニズム」なのである。イタリア戦役がフランスに招来したものは、高いその文化の数々であった。フランソワ1世は、官僚、芸術家、料理人までをフランスに迎えた。フォンテーヌブロー宮は、数多いイタリア絵画を持っていたが、フランソワ1世はそこにフランドルとフランスの画家達を集め、イタリアに迫いつき追い越せという形での励ましを与え、その結果フォンテーヌブロー派という画家達の仕事が生まれた。このフォンテーヌブロー派に属する無名の画家の描いた「サビーナ・ポッペア」ジュネーブ美術館の優雅きわまりない女性像は、明かにイタリアニズムがフランスに生んだその思想の象徴的な表現である。女性の顔の各部分を順次ほめあげる「BRAZZONE」という、世にも優雅な詩の競技にあられるような女性の顔の美しさが、その淡く、繊細にすぎとおった薄絹のヴェールをすかして見える「サビーナ・ポッペア」はイタリアフィレンツェのウフィツィ美術館にあるポッティチエリリの「春」よりもまして、ある想像力の柔軟な動きが加わって人を魅惑すにはおかない。ルネッサンス期に美しい時に女性の美を賛えた詩人達の優雅な心のPOETAというブランドを通してメッセージしたい。

ほめられ、賛えられ、意識の眼で眺められて女性達は美しく育っていった。ルネッサンスのイタリアではBRAZZONEという女性をほめたたえる詩の競技があった。なんと優美な強しであることが。社会を鏡として鋭敏な神経を育て、情報化社会の真只中で青春期を迎えた女性達に、美のバージョンとしての詩人達の心のエレガンスを、物語としてメッセージしたい。

ときめきいざない書

●自分の本質にめざめさせ、意識の旅へといざなう書。

どんな女性が読んでも思わず自分の意識の中を覗いてしまう、そんな不思議ないざないの力を持つ書物です。



ときめきみちびき書

●未来の事業をみちびき参加をうながす書。

イメージしたことしか形にはなりません。想いがつると幸運は引きよせることができます。私達の未来をみちびいてくれるエネルギーを持った書物を私達自身でつくりあげました。



知性表現



理

ときめき

理念の表現は、意識

念



感性表現

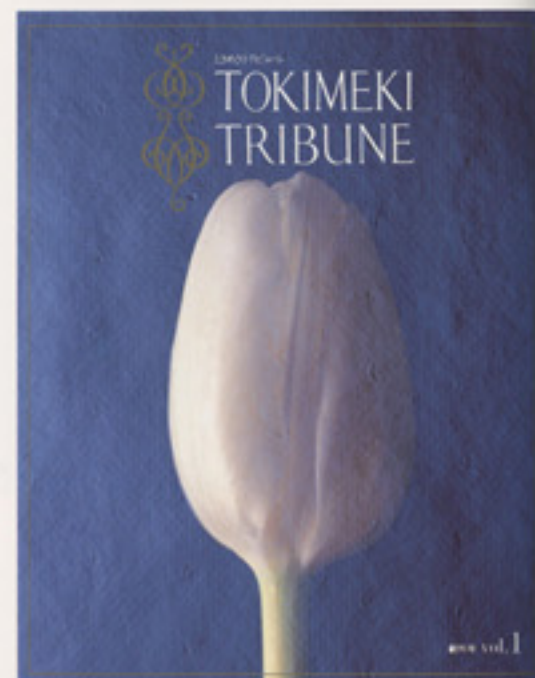
響奏企業。

の強さで形になる。

私達のメッセージするあらゆる情報物はすべてときめき響奏という理念の具現化です。理念を形にし続けていく、それには、私達の意識の強さの持続力を磨いていくしかありません。だから名刺ひとつ、封筒一枚にも理念の息吹がほとばしっているのです。

ときめきキット

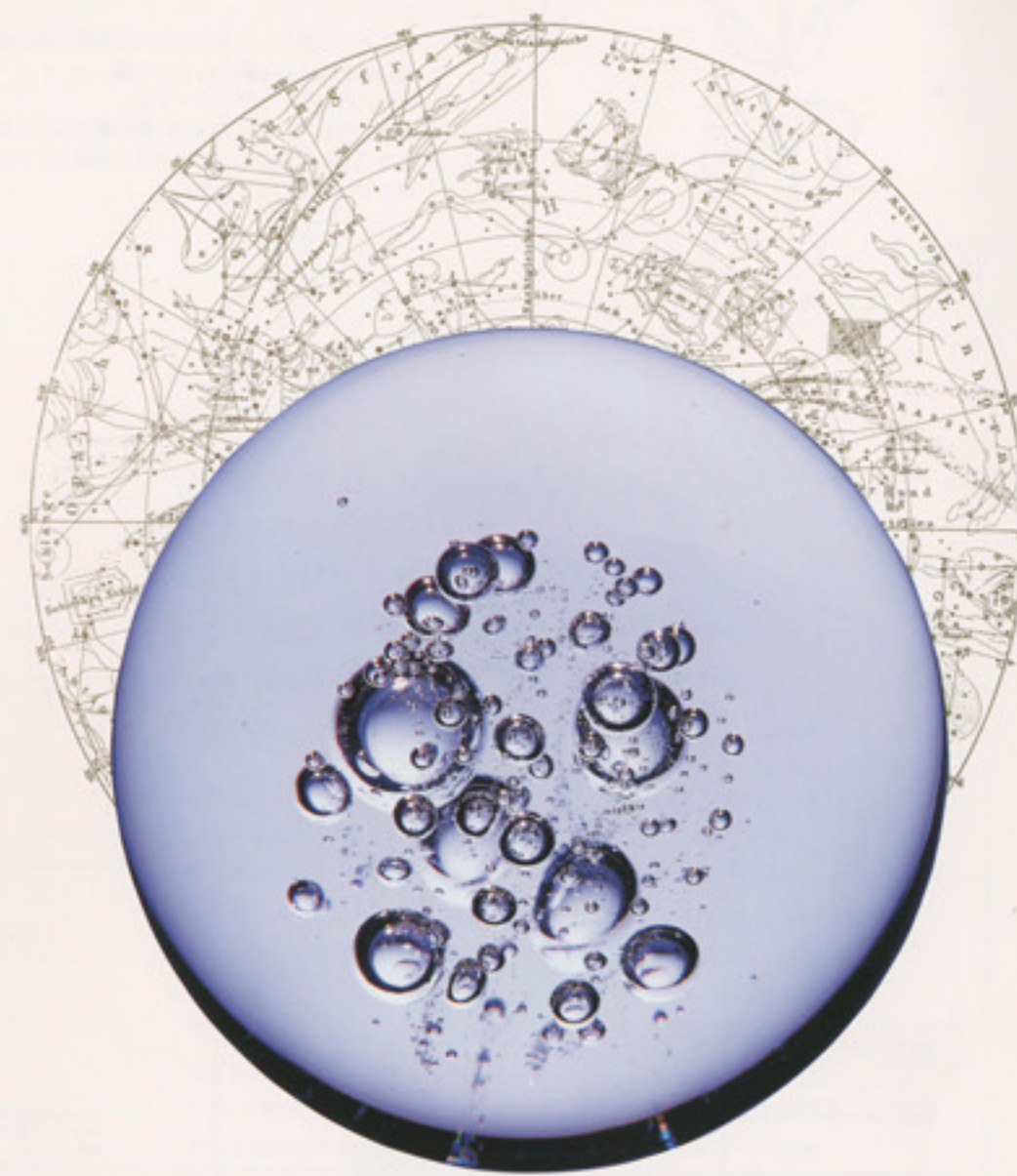
「人間の意識を耕し、心が整えばときめきがおとずれる。」その意識を耕し、心を整えるための道具がときめきキットです。このツールのひとつひとつには、つくり手の想いのひだがかめられています。「一人の人間の意識がクリアになることによって10人、100人へとその明確な意識が連鎖し響奏していくはすだ」その情景を心に描いてときめきキットは、ひとつずつ手づくりでつくりこまれました。毎年、ときめき響奏人にふさわしいと認定された数人の方々にこのキットは贈呈されることになっています。



ときめきトリビューン

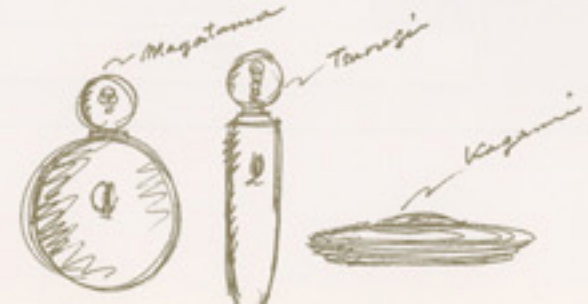
●参加し、表現し、友をつくる雑誌。

情報を提供する雑誌から、情報を吸収し読者の感性をまとめ、形にし、再び発信していくというような円環情報発信誌がときめきトリビューンの編集方針です。

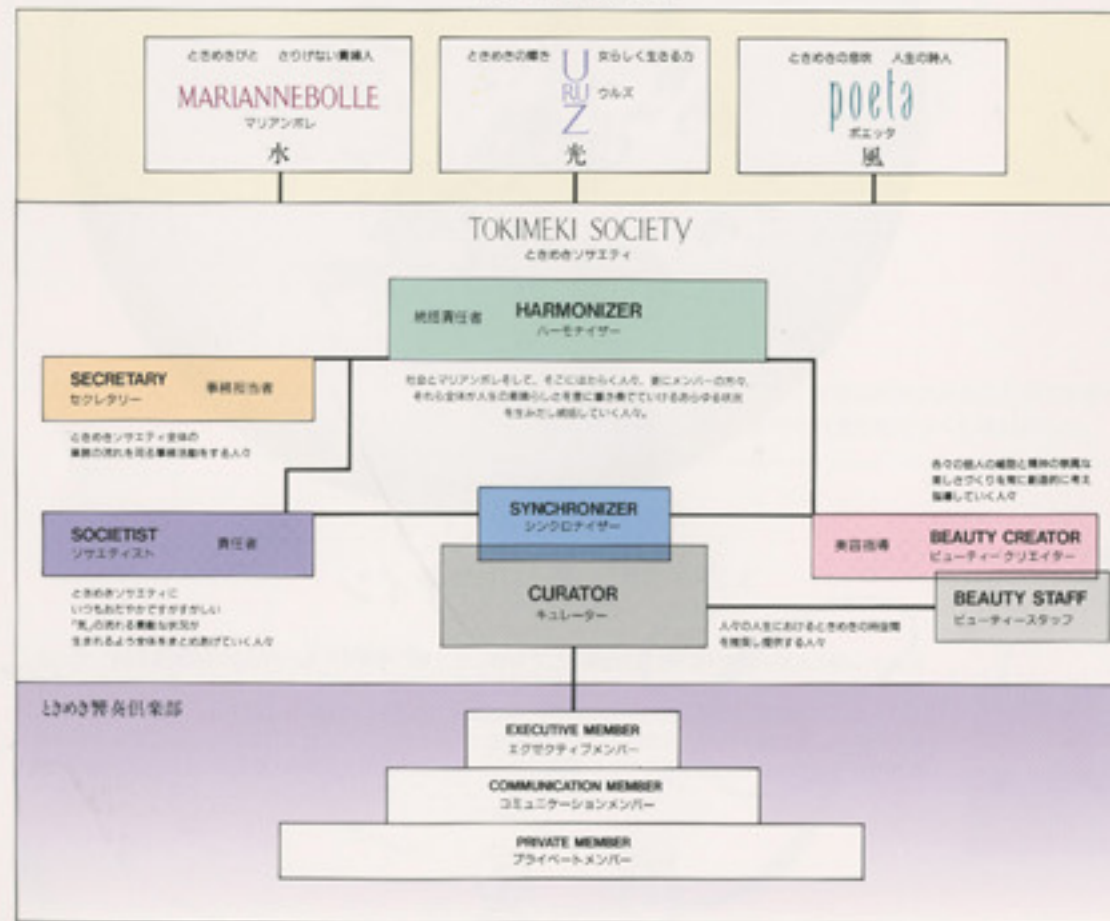


ボトルデザイン

古来から神と人間との交信の儀式の道具として存在した三種の神器そのものが自然の摂理を意味しています。勾玉は誕生、鏡はエネルギー、剣は浄化を現わしています。生まれ、生き、浄化し更なる生命を得るという自然界の循環が現わされているのです。勾玉は結、鏡は結、剣は結、そしてそれを使う人間が神にあたります。生命情報の入ったあなただけの化粧品は宇宙との交信具です。宇宙からやってくるときめきの光をしっかりと受けとめみずみずしい意識を生み、磨きあげる為の化粧品、それがLIDIC1012なのです。



心ときめく暮らしの為のあらゆる情報があつまり
生活の知恵として孵化していく場
それがときめきソサエティです。
ときめきソサエティでは日々個性豊かなときめき音楽心が
生まれそして磨かれ、更に次々と素晴らしい出逢いを
育んでいくことでしょう。



2001年、300万人の意識が集う。



ONLY YOU COSMETICS. あなただけの化粧品。LIDIC1012は、誰もが体験したことのない素晴らしい充実感があります。人間の誰もが持っている自然の治癒力の凄さが全身で味わえるのです。この実感は一度味わうと一人でも多くの人にこの感覚を教えてあげたい、特に自分の肉親や親しい人々にこの喜びを伝えたい。そんな自然な想いがつづり、やがて21世紀の入口には、300万人の人々がこのLIDIC1012の体験者になっていることでしょう。この300万人の人々の意識が集う全国の拠点、それがときめきソサエティなのです。

ときめき音楽倶楽部の活動の拠点は、
ときめきソサエティです。
ときめきソサエティには、
心を耕し、自分の美しさのスタイルをつくり
本当の健康的な美に育てる その為のあらゆる
カリキュラムが揃っているのです。

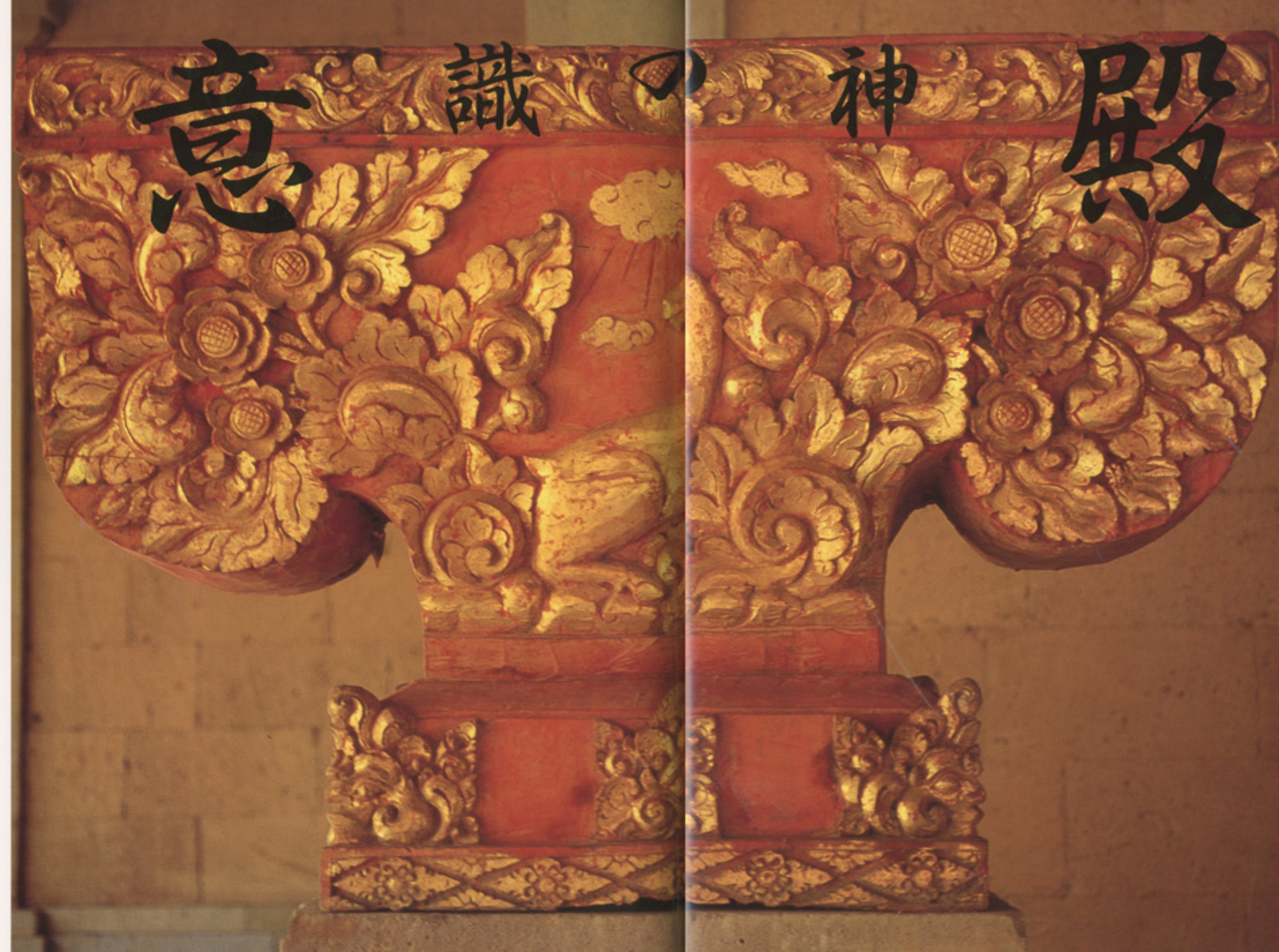
これから日本全国にときめきソサエティは100ヶ所に点在していくことになります。しかし、従来のFCフランチャイズ方式でも、ランチェスターの法則（有名なアメリカのマーケティング手法）でもありません。むしろ江戸時代の日本に定着した「座」の発想やそれ以前に日本全国をネットワークしていた国分寺のシステムに近いかもしれません。ときめきソサエティは、日常の自分にときめきを与え続け、自分の中に居るもう一人の自分を磨き、高めていながら本来の自分をつくりあげる為のあらゆるお手伝いをする場です。だから江戸の人々がつくりあげた家元制度のように、その場で道を高め極めながら日常とは違う専門家としてのもう一人の自分をつくりあげていける場のような存在になっていくでしょう。



ときめき倶楽部活動システムの軸である耕結浄粋の考え方は、女性個人の生き方以外にもあらゆる立場の個の存在の問題に対応することができます。例えば、家庭全体の幸せを求める時にも耕結浄粋の考え方が適応できます。家族の心を耕し、今迄と違う新しい切り口の結びを見つけ、共に心を浄化させ、わだかまりを取り去り、家族全員で「家」としての誇りを粋なハウススタイルに高めていくのです。

女性達が未来の地域生活文化を感じて発進できる場 ときめきソサエティ

ときめきソサエティは女性の幸せな生き方のあらゆる「コト」・「モノ」を提供していく場ですが、そこには、そのソサエティが存在する「まち」の状況を抜きにしては実現しません。女性が活き活きと、粋に生きていくにはどんなまちであるべきなのでしょう。男性の発想のまちづくりには無い実感的な生活システムが日々の人生に優しい潤いを与えてくれるような、手触りのまちづくりの知恵をこのときめきソサエティから発信していきたいと考えています。耕結浄粋のノウハウは、このまちづくりの中にも見事に活かされます。耕しの八角形の図をまちづくりにあてはめ、どんな暮らしや生活をイメージし、形にしていけばいいのかをソサエティの一人一人がまとめあげるシステムもすでに実験段階を終えています。全国各地のときめきソサエティでつくられた各地のまちの理念や物語は、各地方自治体へ提案されます。又、全国100ヶ所のそのレポートはプレート化され全国100ヶ所のときめきソサエティに100枚のプレートとして展示されるのです。



TOKIMEKI SOCIETY
ときめきソサエティ

意識の神殿

工業化社会では人口の多さが都市の比較基準でした。情報化社会では人々の情報交流の多さ、すなわち違う処からあらゆる人々がやってくる都市こそ魅力のある都市でした。意識の社会では、人口でも情報量でもなく、人々がどれだけその場を意識するかが都市の価値を決めていきます。意識の質と量が都市の格をつくっていくのです。どれだけ多くの人々がその都市に憧れと愛着を感じるかが決め手になります。都市は情報の神殿から意識の神殿へ生まれ変わろうとしているのです。ときめきソサエティは意識の神殿の軸となっていきたいと思います。



The Spiral Mandara

らせんまんだら
二重螺旋曼陀羅

人体を構成するDNAは、二重の螺旋を描いた形をしています。バリ島に点在する米の畑RICE GARDENはすべて美しい二重螺旋で形成されています。彼等バリ人は生命の自然法則を知りつくしているのでしょう。ここにある図は8角形の曼陀羅の中央を通す線によって二重の半円が左右に展開されています。これはこれからのビジネスの基本となる流れの集約図です。まず、ときめきいざない書に触れることからすべてが始まり、やがてときめきソサエティのリーダーへと進む自然の流れがまるで水の流れるように描かれています。中央にはときめき音楽倶楽部が位置付けられています。この倶楽部に入り、又戻りながら8つの輪を右回りに動く展開です。一周目を回って人々は二周目にはときめきいざない書から中央のときめき音楽倶楽部を経て、ときめきソサエティへ辿りつき右へ回り続けます。ときめきソサエティのときめき音楽倶楽部からときめきいざない書が発行され、それが新たな参加者の輪を拡げていくのです。

